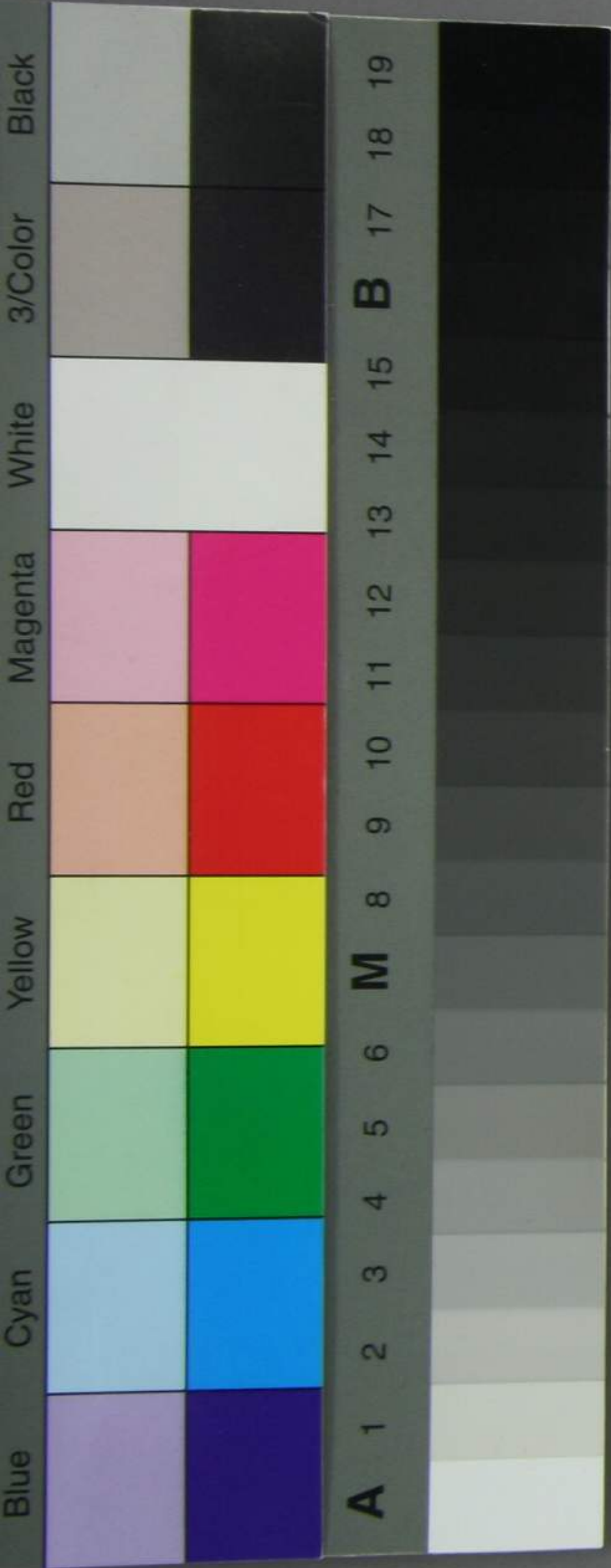


114
A 5037

夏分

過日星亨税関寮ヲシク後ヲ考ス枋方権臣
下官ヲ呼曰ク定下以為如何下官卷テ夏
税関ノ歳二百万日ノ過キス二百万日ハ
秋酒愛知西條ノ歳今ノ而シテ今則為
メニ税関寮ヲシク則其入必ク其出ヲ償
ハスト権頭曰ク俞リ税関必シモ一寮ヲ立
テス之ヲ小寮屬シ権頭一人ヲシキテ之ヲ

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



嘗ラシムル則可ナリト下官歎ル其説服ス
其後陸奥頭亦曰足下以為如何下官
答フルニ権比ニ答フル所ト権比ノ語ル所ト
スレテス頭亦曰ク余亦固ヨリ此説アリ税
寮未タ設クカガサリト遂ニ枋方権比
及ヒ下官ヲ呼ビ之ヲ深ルニ権比既前説
アリ亦之ヲ是トシ遂ニ横濱本局ノ名ヲ
廢シ中島権頭ヲ呼ビ之ヲ生租稅御ヲ

横濱長官ニ任スルヲ清ノ淺ヲ決シ之ヲ
閣下ノ清ヲ閣下亦之ヲ是トシ横濱本局
ヲ廢スルノ旨ニ鈔印シ而シテ港長ニ至テ未
タ之ヲ允裁セス下官以為ク是必閣下深
謀遠慮スル者アリテテ而シテ然リト何ト
ル中島権頭ノ悔ルキ其利ニアリ租稅
寮事務多端迄前頭陸奥アリ権頭松
氏アリ四者出任安氏アリ三人相輔ケテ一

寮ヲ治リ而シテ今ヤ則松氏一人之ヲ掌ル
況ヤ置籍日アリ縣務漸々齊リ且ヤ時多
収獲際不レテ以テ事務頗ル多キヲス
ラス然ルニ税関事務亦漸々進出シ外
國公使ノ名刺ヲ要スル者外務省ノ掛合ヲ
要スル者亦漸々増益不安リ松氏一人ヲ掌
之任スレバ則中區内京ニテ之ヲ助ケ利
トイフベキナリ
容歲新税関法制改定

當時各港^例法ヲ異ニシ仲裁^{ナラス}此^{ナラ}テ
先ツ横濱税関ノ方法ヲ一定シ之ヲ以テ本局
トシ更ニ各港ニ及セシム是兼亦得
先者ト稱スレバ然レ氏今ヤ各港仲裁
既ニ之一定ス然ルニ猶横濱ヲ本局トシ事
横濱ノ手ヲ經過ス事務既ニ遲滯
煩雜亦太多シ則横濱本局ノ名廢スレバ
本局ノ名廢スレバ則權以出出セザル

べしニ利トイフベキナリ況ヤ閣下既ニ
裁印ヲ斡ス而シテ独リ港長ヲ許可シ
信ハサル者ハ其レ所生氏任スル横濱長
官ノ名ト權トヲ以テスルヲ遠慮シ信フ
ニアラサルヲ得レヤ所生氏ノ始テ神戶至
ルヤ官久ク進退スルコト大甚ク下官深ク
其容衆ノ疑ナキヲ疑一リ是ヲ以テ之ヲ
推ス閣下ニ深澤遠慮スル者蓋シ是

カ為ルカ然レ氏其後下官竊カ所生氏
為ス所ヲ視觀スルニ官負和親堂ヲ
不睦ノ形ナク且ヤ事務日々奉リ其外固
領事ニ抗論スルカ如キ洋嶋一糸少謬
ナレトナサストイハ其他件ニ常ニ能ク地
ホヲ占ム則チ先キノ疑ヒシ者豁然トシテ
氷釈セリ況ヤ横濱亦者亦察ナリ距ル
下控テ迫シ其知生皆詳察スレシ則チ

生スヲ以テ横濱、並ク亦其破ヲ忝メ其
事ヲ破ラサルハ然レ氏横濱ハ開港場
ノ才一考シ居リ而シテ亦税関ノ事考
居レリ故シ横濱税関一々ト事ヲ破ル必
ス他ノ税関、波及セシ況ヤ横濱税関
曩昔擾乱下官之ヲ目撃シテ之ヲ憂
フ況ヤ亦下任重ク責大ナリ母之ヲ
憂ヘザラレ則下官敢テ所生スラステ直

横濱を官ト為スヲテ歌セス清フ試ハ中
氏ヲシテ海軍セシメ猶横濱長官ヲ
兼子シメ所生スラステ次官トナシ中氏
不在ノ時ハ所生氏ヲシテ之ヲ代理セムル
ヲ一、中氏各港巡回ノ時星亨ノ之ヲ
代理セシ例ヲ以テセハ
中氏巡港ノ時星亨ノ之ヲ代理ス
然レ在官者ノ進退及各港取事ハ
対後日ノ例規トナルキ者皆之
ヲ中察ト自レシム 豈不可ナル者アコレヤ
庶リ而シテ所氏為ストコト是ナラスハ並ニ

免成しテ之ヲ四衛^齊投シ為ストコ口是ナ
ラハ遂ニ奉テ之ヲ港長トナシ中氏ヨシテ
專ラ亦察ノ事ニ任セシメハ則可ナラシク細
下清^フ幸ニ之ヲ裁セヨ尊嚴ヲ冒瀆ス不
堪^恐懼